令和７年度 第６回薬学実務実習ガイドライン改訂 WG　議事録

日　　時：　2025 年 10 月 30 日（木）　13：00～15：12
形　　式：　会場と Zoom によるハイブリッド開催
場　　所：　日本薬学会長井記念館１階 C 会議室
出 席 者：　別記１
配付資料：　別記２

1. 資料１について、鈴木委員長が前回会議からの修正点を説明した。
委員から、主に以下の点について意見が述べられ議論が交わされた。

- 前文の医療提供施設とそれ以外の場での実習に関する文言の修正
- 「当面選択科目として設定する」の部分の修正
前文では「選択制の実習」とし、「Ⅰ-2. 卒業要件との関係」では、「・当面は選択科として設定する。」を加筆し、「卒業要件単位」を「必修科目」と修正する。
- 「Ⅰ-3. 実習時期」で、実務実習の中断は行わないと断言することとする。
- 医療提供施設以外での実習の実習内容についての語句の修正

以上の点について修正を加えた修正案を委員に回覧して、次回会議前に意見をもらうこととなった。
この他、実習内容に関して審議し、以下の結論となった。

- 実務実習での申し合わせと同様に、例えば、医薬品卸の見学などの「臨床現場での実習ではないプログラム」は、医療提供施設での実践実習とは認められないこと。
- 医療提供施設以外での実践実習として、例えば、医薬品卸での実践実習を企画する場合は、１週間が基本ユニットなのでそれ以上の期間を確保した内容を担保すること。

2. 資料 2-1 と 2-2 について、委員から、主に以下の点について意見が述べられ議論が交わされた。

- アンケートの質問文の修正
- 実践実習に関する説明会とアンケートの実施時期について議論され、説明会は年末前（遅くとも年始）に行うこととなった。
- 各地区調整機構での話し合いが行われる時期に合わせてアンケートを実施する。
- 関東、東海、近畿の地区以外の地区調整機構への説明を十分すること。

以上の点について修正を加えた修正案を委員に回覧して、次回会議前に意見をもらうこととなった。

3.　資料3-1と3-2を用いて、「薬学実務実習に関するアンケート」の調査結果を議論した。この資料は、議論を踏まえて分かりやすく整理してから公開することとなった。

別記1

＜出席者名簿＞

所属	出席者名 (敬称略)	出欠
名古屋市立大学 特任教授	鈴木　匡	会場
一般社団法人 日本病院薬剤師会　理事	石井　伊都子	欠席
公益社団法人 日本薬剤師会　理事	小黒　佳代子	会場
和歌山県立医科大学　薬学部長	太田　茂	Web
名城大学薬学部　教授	大津　史子	Web
大阪医科薬科大学薬学部　専門教授	角山　香織	会場
帝京大学 名誉教授	小佐野　博史	会場
東北大学大学院薬学研究科・薬学部　教授	富岡　佳久	会場
慶應義塾大学薬学部　教授	中村　智徳	会場
桜台薬局	永田　泰造	会場
京都薬科大学　教授	橋詰　勉	Web
和歌山県立医科大学薬学部　教授	平田　收正	Web
東京理科大学薬学部　教授	真野　泰成	欠席
鈴鹿医療科学大学薬学部　教授	八重　徹司	Web
一般社団法人 薬学教育協議会　代表理事	本間　浩	会場

文部科学省高等教育局医学教育課	小林一隆,熊木良太	会場
	金子早也香,松本晴樹, 瀬川優香理	Web
厚生労働省医薬局総務課	木下徳康,遠阪聡子,	Web

別記２

＜配付資料＞

資料１　薬学実践実習に関する指針（案）

資料 2-1　医療提供施設へのアンケート（案）ver.3

資料 2-2　大学へのアンケート（案）ver.3

資料 3-1　薬学実務実習に関するアンケート（学生向け）

資料 3-2　薬学実務実習に関するアンケート（施設向け）

参考資料１　令和７年度第５回実務実習ガイドライン改訂 WG 会議議事録

参考資料２　出席者名簿